

発行日 / 2011年8月20日

発行者 / まにわ恭子 <http://www10.ocn.ne.jp/~ikiki>

馬庭恭子事務所・まにわ恭子後援会

〒730-0051

広島市中区大手町2-5-11-204

TEL / FAX 082 - 541 - 3151

ikikihiroshima@lily.ocn.ne.jp

広島市議会議員控入室

TEL 082 - 245 - 2221

FAX 082 - 245 - 2223

Maniwa-k@giin.city.hiroshima.jp

## 3期目のごあいさつ

3月11日におきた東日本大震災直後の地方統一選挙。被災地のことを考えると複雑な思いでの選挙戦となりましたが、皆様のご支援で、3期目をむかえることができました。これからも市民目線で、市政の見張り役として4年の任期をがんばってまいります。会派は無党派クラブ、ひとり会派です。また所属委員会は総務委員会、人にやさしいまちづくり特別委員会のふたつです。今までどおり、議案を自分の目で丁寧に検証し、是々非々で歩いていきます。

## 恭子の議会つれづれ

**市**長も変わり、議長も変わり、議員のメンバーも変わりました。なにがどう変わったのか具体的にはこれからだと思いません。しかし、議会の勢力図は大きく変化しました。自民党系の3つに分かれていた会派が2つになり、その1つは無所属を表明していた人たちもまきこんで大きな会派となりました。積極的に松井市長の誕生に貢献した人たちです。そこに公明党が加われば過半数が確保できます。

これまでのように、弱小会派もキャスティングボードを握る、あるいは会派ごとに話し合い、修正を検討する...といったことが減ってくると予想されます。最大会派が事前に根回しをし、議案を通すということになれば、議会が今まで以上に形骸化しかねません。議員が自分の意見をきちんと持ち、議場で丁丁発止の議論ができるよう期待しています。

**6**月議会では市長の施政方針と補正予算が提出されました。私は全体的にみて、市長自身の言葉でなく「誰かに言われている感」を強く思います。オリンピック招致断念、折り鶴の長期保存の中止、子ども条例の制定見送りなど「今までの市政の何かをやめる」という判断が多くみられました。それが松井カラーなのでしょうが、なんだかそのことだけが強調され、新市長ならではの具体的なビジョンが感じられなくて残念でした。もっと自分の政策を前面にだせばいいのにと思います。

**さ**らに気になるのは、発言の軽さです。皆様よくご存じの「被爆者の中に何か権利要求みたいに『くれ、くれ』じゃなくて『ありがとうございます』との気持ちを忘れんようにしてほしいが忘れる人がちょっとおる」との発言は市長与党からも非難がでましたし、「脱原発」発言も翌日には



トーンダウン。首長として政治家としてのセンスがかけているのではないかと思ってしまう。また「対話」を重視するという言葉が何度もできます。「対話」がパフォーマンスに終わり、結局馴れ合いになってしまわないよう祈っています。

**ど**んな自治体でも企業でも首長は孤独なものです。多くの意見をきちんと聞いたうえで、最後の決断には自分が責任をもつしかありませんが、裸の王様にならないよう、くれぐれも自戒していただきたいものだと思います。これからお手並み拝見となるので、私は緊張感をもって、批判すべきところはきちんと批判していきます。このスタンスはこれからも変わりません。

## 市議会 こぼれ話

広島市議会は122年の間、議場に国旗掲揚をしていませんでした。記録をさがしてみましたが、理由はよくわかりません。広島に限らず、多くの議場に長い間国旗は掲揚されてきませんでした。

しかし、今議会で唐突に国旗掲揚の決議案が提出されました。本来でしたら、こうした議案は事前に検討すべきものです。私は進め方に納得がいきません。

会派へ説明にこられた提案者に「なぜ...急に...どうして?」と尋ねると「そりゃー、議長がかわったけえよー!!」との答。全く説明になっていません。議場における「しつらえ」など規則を作っていくわけですから、きちんと議会の幹事長会議や議会改革検討委員会で決めるべきです。議案を推進した会派の「横暴」といわれても仕方ありません。一刻を争う案件とも思えませんが、何故そんなに急ぐ必要があったのでしょうか。

# 2011年度6月 議会報告

## 脱原発についての意見書について

東日本大震災と東京電力の原発事故は、我が国のエネルギー政策に大きな転換を迫っています。

今回の議会には2つの意見書案が出され、議決がおこなわれました。意見書とは「市の公益に関することについて、議会の意思を決定し、国会又は関係行政庁へ提出するもの」をいいます。つまり広島市議会の意見表明です。

2つの意見書案...ひとつは「脱原発」、ひとつは「エネルギー政策の転換への努力を」というあやふやな内容でした。後者は自民、民主、社民が「なんとかまとめて政府に提出したい」キモチの表れた玉虫色のものです。

私は「脱原発」の意見書案に賛成しました。ここで大きく舵を切ることが次世代への責任だと思ったからです。結果は玉虫色意見書案が賛成多数で可決されました。

### \* 平和宣言 \*

被爆から66年が経過した今年、福島県の東京電力原発事故で核の脅威を全世界に知らしめた年です。新市長の平和宣言をぜひ、この耳で聞かねばという思いで式典に出席しました。

「広島の平和宣言」は世界にアピールする非常に大切な宣言文です。当日配布された冊子を読み、市長自身の読み上げを注意深くききました。

被爆者の証言を入れたことは評価できますが、平和都市の市長として世界に何を訴えていくのかが見えませんでしたし、こころに染み入るような言葉はありませんでした。

## 認知症医療センターの公募について

認知症はだれにでも起こりえる病気ですが、その治療やケアには、専門性が求められます。認知症の診断、地域における医療機関等の紹介、かかりつけ医等への研修の実施、問題行動についての相談などを行う専門医療機関である認知症医療センターの設置が決まりました。

私は以前より、認知症医療センターを市民病院にと提案をしてきましたが、結局専門医が獲得できず、民間に公募し設置することになりました。精神病棟のある民間病院が募集対象となり、委託費は年間600万円（おおよそひとり分の人件費）です。質の高いセンターにしてもらいたいです。

## 入札制度見直しで、市民は12億円の不利益!! (総務委員会)

広島市では、公共工事の業者を決める際、一般競争入札の拡大、電子入札の導入により、一定の透明性を確保してきました。他都市と比較しても、落札額は低めに抑えられています。しかし、そのため価格競争が激化し、広島市の業者が厳しい環境におかれたと聞いています。

松井市長は「公共事業の入札の仕組みの見直し」を表明。地元業者（工実施区内の業者が優先される）の受注機会の拡大が目的ですが、この見直しで工事の単価が上がり、市民は1年間に12億円（広島市の試算）を余分に負担することになります。もちろん、地元経済がうるおうことはとても大事です。けれど、思惑通りに景気がよくなるのでしょうか。一時的に一部の業者がうるおい、短期の労働者が増えるだけで、景気浮揚や建設業界の将来によい効果があるとは思えません。

その12億円を新しい産業への助成や福祉分野への投資にあてるべきではないかと考えます。子どもの医療費の無料化や待ち人数の多い特別養護老人ホームができるのにとおもいます。

松井市長の自分の選挙への「恩返し」ととられかねない政策です。ただこの見直しには、自民・公明・民主・社民・共産など、私を除く全員が賛成です。入札が区内という狭い地域での競争となり、政財官の癒着や業者の談合になりかねないシステムです。監視の目が必要です。

## 副市長の選任同意について

広島市の人事権は市長にあります。副市長と教育長のみ議会に同意が諮られます。新しい副市長候補は2人。1人は市役所の職員、もう1人は総務省の推薦を受けた東京のキャリア官僚です。私は、官僚出身であれば、退職時期も総務省の指示ではないのかと思い「4年の任期はまっとうされるのか」質問しました。答弁は「1年かもしれないし、2年かもしれない」という不確かなものでした。

市民のために仕事してもらうのには、ある一定の期間は必要ではないかと思えます。市長と同じ官僚出身の広島県の湯崎知事は、副知事に民間出身の人事を提案し、実現させました。その先進的な発想に未来を感じます。新しい2人の副市長...杞憂だったと私が反省するような活躍を期待したいものです。

## 性暴力被害者支援のための看護師養成講座 (東京)

申し込み多数で順番待ちの研修講座です。医療政策を考えていくうえで、まず自分から学びを深めようと、2日間（年6日コース）受講しました。DV、児童虐待をはじめとした複雑な問題に専門性をもって解決していくための基礎を学びます。

私は広島市にも性暴力にすぐ対応できるワンストップサービスが必要不可欠だと思います。大阪の阪南病院には、先駆的に病院のなかにこのサービスが組みこまれています。広島市民病院の女性外来にこの機能を取り入れ、強化していくことで性暴力被害者に対応できればと考えています。

ご報告!



# フクシマ医療ボランティア報告



避難所の玄関で、たくさんのキャラクターが手をつないで出迎えてくれます。みんなが励まされています。

7月31日から8月5日まで、福島県で「きぼうときずなプロジェクト」の医療ボランティアとして活動してきました。郡山市のビックパレットに拠点を置く富岡町（原発がある町）の避難所の被災者支援です。富岡町は全町民が避難。県内各避難所や仮設住宅に町民がばらばらになって不安な日々を過ごしています。

出かける前に放射能測定器をオンにして活動が終わるまで積算します。活動には心情とともに科学的視点も必要です。

## 母校の聖路加看護大学の「きぼうときずなプロジェクト」

このプロジェクトは東京大学の大橋先生(福島出身)が代表のNPO臨床研究支援ユニットと聖路加看護大学の共同活動です。来年まで長期間継続される被災者医療支援活動です。



地元雇用の運転手さん大活躍!!ちなみにこの自動車は韓流スターのペ・ヨンジュンさんの寄贈です。

仮設住宅で聴き取りしながら感じたことは津波の恐怖だけでなく、目に見えない原発による放射能の恐怖が想像以上だということ。いま起こっていることに対して「本当のことを知りたい」「国は信用できない」みなさん同じ思いでした。

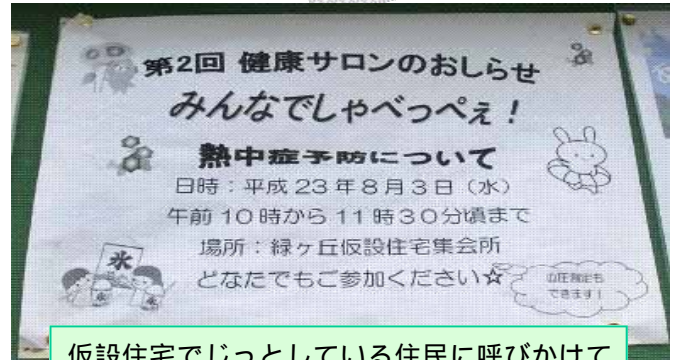
仮設住宅には高齢者のひとり暮らしが多いです。1軒1軒足で歩いて、お話をお聞きます。「もう帰るっぺ？」なごりおいしいのです。いっぱい伝えたいことがあるのでしょう。



広島市から災害対策担当職員を1年程度の長期派遣するなどして、被災地を支援するとともに、その経験を広島市の災害対策に役立てるといいと思いました。まだまだ福島の困難は続きます。被災者の受け入れ拡充など、広島市の支援についてもっと考えていきます。



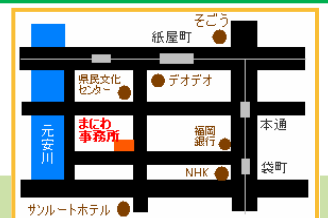
手足の血液などの動きをよくする運動です。みんな足を上げてブラブラさせ「ゴキブリみたいだ~!!」と笑いのウズでした。町民の皆さんも元気になります。



仮設住宅でじっとしている住民に呼びかけて交流サロンを開いています。

## 事務所が移転しました!

経費削減のため事務所を移転しました。  
 <所在地 / 広島市中区大手町2-5-11-204 >





# まにわ恭子の走行記録

Run! Kyoko!!

2011.5 ~ 2011.8

5/9 世話人会議(議会)	12 CAP総会 出席	16
13 世話人会議(議会)	14 会派勉強会 参加	17 がん対策サミット(東京) 参加
16	17 本会議	18
17 臨時議会	18 犯罪被害者支援センター 講演会 参加	20 総務委員会(市内視察)
18	23 議会(一般質問)	23 広島大学緩和ケア認定入試委員会 参加
24 議会運営委員会	24 議会(一般質問)	24 クリーン大田川 参加 WABAS講演会 参加
25 大手町町内会 参加	27 議会(一般質問)	30 袋町原爆慰霊祭 参列
6/1 文教委員会	28 常任委員会	31 ウィメンズ・キャンサー・サポート 実施
2 建設委員会	29 常任委員会	8/1
5 WABAS 袋町学区町民運動会 列席	30 議決	2 きぼうときずなプロジェクト
6 幹事長会議 消防上下水道委員会	7/3 脱原発講演会 参加	3 福島県郡山市災害支援ナースとして参加
7 経済環境委員会	8	4
8 厚生委員会	9 性暴力被害者支援看護師養成講座(東京)	5
9 総務委員会	10 参加	6 原爆の日式典 参列
10 議会運営委員会	11	11 議会運営委員会



「しまった、しまった、二度寝したらすっかり寝坊しちゃった!」と息をきらしてご出勤の馬庭さん。「珍しいですね。いったいどうされたんですか?」と私。「やっぱり昨日のことで緊張していたのかしらね~」そこで馬庭さんが話をした「昨日のこと」というのが・・・東京でがん対策サミットに出席した帰りの新幹線、東京 名古屋間の車中で「お客様のなかに、お医者様がおいでになりましたら14号車においでください。急病の方がおられます」との車内放送。「月曜だから(新幹線で)出かけている医師は少ないだろう」と考え、「看護師です、もしお役に立てれば」とその車両に行ったそうです。医療関係者は他に誰も来ていなくて、脈や顔色、問診から「安静にしていれば名古屋までの40分は大丈夫だと思います」と伝え、毛布を持ってくるよう車掌さんに依頼。そこに「私は歯医者です」と若い男性歯科医師、続けて「自衛隊の救急救命士です」という福島からの帰りの自衛官さんも駆けつけ、同意見とのこと。三人で、デッキに横たわった患者さんに付き添い、名古屋駅のホームで待機していた担架にお載せして、広島に帰ってきたそうです。私は、車内放送を聞いてすぐ立ち上がったところが馬庭さんらしいなあと思いました。旅先のそれも列車内での急病、その患者さんは、どんなにこころ強かったですよね。救急救命士さんと看護師さん、その上歯科医師さんまでもがそばについてくれるのですから。議員としてはではない馬庭さんの一面、今日の寝坊は許しましょ。(高井)

## 青空市政報告・相談

8月26日(金)

13:30 ~ 15:00

タカノ橋商店街 バタバタふれあい広場  
(中区大手町5丁目 商店街東側)

この人を応援しています!

無所属



井上 さちこ さん

2回目の廿日市市長選への挑戦です。女性の政治参画は必要です。行政・ピンクリボンなど市民活動の経験が豊富で、卓越した行動力があります。

身近な生活の心配事など、お気軽にご相談ください。直接お話をお聞きして一緒に考えます。



### カンパのお願い

後援会にカンパしていただくと助かります。1口千円で何口でもお願い致します。

郵便口座番号 01310-1-74320 まにわ恭子後援会

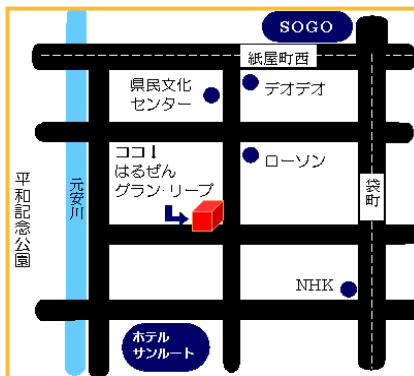
ニュースレターをEメールでもお送りします。

メールでの送付をご希望の方は、まにわ恭子HP (<http://www10.ocn.ne.jp/~ikiiki>) から直接メールでお申し込みください。

### まにわ恭子後援会

〒730-0051 広島市中区大手町2-5-11-204 TEL&FAX 082-541-3151

E-mail [ikiikihiroshima@lily.ocn.ne.jp](mailto:ikiikihiroshima@lily.ocn.ne.jp) <http://www10.ocn.ne.jp/~ikiiki>



\*このページは、まにわ恭子後援会の費用で作成しています。